

原発いらない金曜行動 ご参加を！

6月18日(金)午後6時30分～7時45分

首相官邸前：●丸ノ内線・●千代田線「国会議事堂前」●南北線・●銀座線「溜池山王」徒歩2分

呼びかけ人からの発言(予定) (五十順)
落合恵子さん(作家 クレヨンハウス主宰) 鎌田慧さん(ルポライター)
神田香織さん(講談師) 古今亭菊千代さん(落語家) 佐高信さん(評論家)
その他 原発反対の声をあげつづけている市民のみなさん



全ての原発を廃炉にしよう！

東電・福島第一原発・遠景

原発ゼロ法案を審議せよ

第6次「エネルギー基本計画」で原発ゼロ実現を

老朽原発・美浜3号をうごかすな

東海第二原発の再稼働反対

原発も核兵器も要らない

毎月・第3金曜日 首相官邸前 午後6時30分～7時45分

主催：「原発いらない金曜行動」実行委員会

☆ 呼びかけ人、賛同団体 大募集中！(裏に連絡先あります)

「原発いらない金曜行動」

日時：2021年6月18日（金）18時30分～19時45分

場所：首相官邸前

主催：「原発いらない金曜行動」実行委員会

参加のお願い

3・11後から10年間毎週金曜日に首相官邸前や国会正門前で反原発・再稼働阻止の抗議の「場」を提供してきた首都圏反原発連合（反原連）が本年3月末に金曜行動を休止しました。

そこで私たちは、政府に原発ゼロの実現を迫る新たな行動の「場」を首相官邸前に設ける決意をしました。月に一度（第3金曜日）ですが、首都圏の反原発運動を結集するとともに、全国で今も「金曜行動」を闘い続けている仲間たちと連帯し、東京で「原発いらない金曜行動」を多くの皆さんとともに訴えていきます。

ぜひご参加下さい。創意工夫のプラカードなど大歓迎です。

コロナ蔓延の折、蜜を避け、マスク着用・消毒にご留意願います。

「原発いらない金曜行動」呼びかけ人（あいうえお順）

青山晴江（詩人）、市原みちえ、落合恵子（作家）、鎌田慧（ルポライター）、神田香織（講師）、菊地輝子、木村雅英（経産省前テントひろば）、久保清隆（再稼働阻止全国ネットワーク）、古今亭菊千代（落語家）、佐高信（評論家）、志田文広（とめよう！東海第二原発首都圏連絡会）、下山保（パルシステム連合会初代理事長）、新居弥生（原子力規制委員会毎水曜昼休み抗議行動）、橋本輝之（ピースサイクル全国ネットワーク）、武笠紀子（反原発自治体議員・市民連盟）、柳田 真（たんぽぽ舎）、横田朔子（たんぽぽ舎）、乱鬼龍（川柳人）、渡辺マリ（市川市在住）

賛同団体・呼びかけ人募集

○「原発いらない金曜行動」に賛同していただける団体は、ぜひ賛同団体になってください。団体名、担当窓口名（メールアドレス、電話番号）をお知らせ願います。

○「原発いらない金曜行動」に賛同して呼びかけ人になっていただける個人は、是非呼びかけ人になってください。個人名、メールアドレス、電話番号をお知らせ願います。

（受付窓口） 久保清隆（k91kubo@ace.ocn.ne.jp、090-4074-4955）

乾喜美子（drykimiko@pslabos.com、090-9105-9469）

主旨

3・11東電福島第一原発事故後11年目に入り、反原発の闘いも新たな局面を迎えて来ています。

東電福島第一原発事故は全く終わっていません。「廃炉」の姿が見えず、30年～40年とされていたロードマップを誰も信じず、「廃炉」まで300年近くかかるかも知れないと予想されています。汚染水対策も破綻していて、菅政権が「海洋放出」を関係閣僚会議で決定しましたが、全漁連のみならず福島県内・国内・海外からの反対の声が燃え上がっています。また、未だに数万人の被害者は帰還できず、賠償も不十分で、被災者はADR仲裁和解案を拒絶している東電に対して30もの賠償請求裁判を起こしています。

一方で、事故原因の検証もしないまま、「緩やかに過ぎ合理性を欠く」新規制基準による審査で原発の再稼働が進み、六ヶ所再処理施設まで審査「合格」し、地層処分の候補地が名乗り出るなど、現菅政権はあたかも3・11以前の原発推進社会に戻そうとしているかの様です。大阪地裁・水戸地裁などの裁判所で稼働差止の判決が出されたのも当然です。

そればかりか、菅政権は、原発稼働を優先させて再生エネルギーを押さえつけ、40年超えの老朽原発の再稼働を目論み、小型原発の研究開発まで持ち出して、原発を推進しています。現在策定中の第6次「エネルギー基本計画」では、地球温暖化対策を口実に原発を残すばかりか、第5次「エネルギー基本計画」にあった文言「原発への依存度を可能な限り低くする」をカットするべきとのひどい意見が出たり、リプレース・新增設が提案されています。

3・11後早々に脱原発を決意したドイツは、本年3月11日に「脱原子力完了のための12項目ドイツ連邦環境省の基本姿勢」を発表しました（<http://sayonara-nukes.org>）。

広島・長崎・福島を経験した日本でも原発ゼロを実現するべく、月に一度（第3金曜日）の行動の「場」を生かして闘い続けましょう。